

きょうと 京図

ものがたり



京都市図書館情報誌

本で広がる世界 本でふくらむ夢

特集

候補作も読んで!

受賞しなかった作品たち



この5冊の
共通点は?

連載

ご存知ですか?使って便利な京都市図書館

図書館用語の基礎知識

京都市図書館 図書館カード発行編

その他のページ

図書館の本棚から 司書がすすめるこの1冊	5
【図書館の特色紹介】北図書館	6
レファレンスこぼれ話	7
【図書館からの声】読んでほしい! for Teens	8

あなたの好奇心に応える

vol.57

令和5年1月発行

候補作も読んで!

受賞しなかった作品たち

文学賞を受賞した作品は、世間で話題になり図書館でも大人気。予約待ちが数百人…ということもあります。でも、受賞しなかった作品もこんなにも面白い! 職員が「この候補作も読んでほしい!」と熱く(?)ご紹介します。

純文学と言えばこの賞!

芥川賞

正式名は「芥川龍之介賞」。

芥川の友人・菊池寛の提唱で、1935年に創設。

年2回、無名・新人作家の小説に授賞。作品は雑誌『文藝春秋』9月号と3月号に掲載される。

このときの受賞作は…

ジミ・ヘンドリクス・エクスペリエンス

滝口 悠生 / 著 新潮社 2015

バイク旅行、美術講師、発火するギター。主人公・一平が自身の青春時代を追憶する物語。いくつもの過去を行き来し、曖昧な記憶を断片的に語る文体は、まるで「思い出す」行為を体現しているよう。あなたもきっと、**あなた自身の青春を追憶する**でしょう。(S)



第153回 (2015年) 候補作

『火花』

又吉 直樹 / 著
文藝春秋 2015



『スクラップ・アンド・ビルド』

羽田 圭介 / 著
文藝春秋 2015



ライターの登竜門!

大宅壮一ノンフィクション賞

戦前戦後にかけての評論家・大宅壮一の活動を記念し、1970年に制定。最も歴史あるノンフィクション賞といわれる。

受賞作品は雑誌『文藝春秋』7月号で発表される。

このときの受賞作は…

目の見えない白鳥さんとアートを見に行く

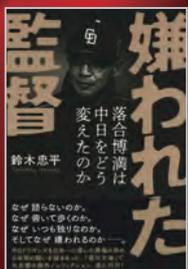
川内 有緒 / 著 集英社インターナショナル 2021

白鳥さんと鑑賞をすると、千手観音菩薩も「食堂のおばちゃん」になる!? 目の見えない方は、アートをどう見るのか…。アートや障害のことなど、自分がいかに固定観念に囚われていたかを知り、読んだあとは、**心の中に白鳥さんを連れて美術館へ行きたく**なります。(H)



第53回 (2022年) 候補作

『嫌われた監督
落合博満は中日をどう変えたのか』
鈴木 忠平 / 著
文藝春秋 2021



『彼は早稲田で死んだ
大学構内リンチ殺人事件の永遠』
樋田 毅 / 著
文藝春秋 2021



世界的な推理小説賞！

ダガー賞 翻訳部門

2022年
候補作

1953年に創設された、英国推理作家協会の文学賞。イギリスで出版された推理小説から選ばれ、受賞者には装飾された短剣(ダガー)が贈られる。2006年から翻訳部門が独立した。

2016年には横山秀夫『64(ロクヨン)』、2019年には東野圭吾『新参者』が受賞を逃している。

マリアビートル (英訳本『Bullet Train』)
伊坂 幸太郎／著 KADOKAWA (角川文庫) 2013

互いに別の目的で、同じ新幹線に乗り込んだ殺し屋達。彼らの目的が微妙に絡まり、事態は思わぬ展開に。

見事な人物描写は、プロの殺し屋への愛着すら感じさせてしまう。読み出したら止まらないこと請け合いだ。2022年映画化。(O)

2013



このときの
受賞作は…

『Hotel Cartagena』(末邦訳)
Simone Buchholz／著
Rachel Ward／英訳
Orenda Books 2021

NO IMAGE

最高の新書を選ぶ！

新書大賞

2016年
第2位

1年間に刊行されたすべての新書から「最高の1冊」を選ぶ賞。

2008年に創設。

有識者、書店員、各社新書編集部、新聞記者などの投票により決定する。

20位までのランキングと講評は、雑誌『中央公論』3月号に掲載される。

生きて帰ってきた男 ある日本兵の戦争と戦後
小熊 英二／著 岩波書店 2015

1925年生まれの男が辿った戦争、シベリア抑留、結核療養所での生活、そして戦後を、社会学者の息子(著者)が聞き取り、歴史的経緯を交えながら明らかにしていきます。

記録を残す機会がほとんどない、戦前戦後を生きた**一庶民のリアル**がここに。(T)



このときの
受賞作は…

『京都ざらい』
井上 章一／著
朝日新聞出版 2015



知ってる?書店員と読者が選ぶ 京都が舞台の文学賞!

京都本大賞

このときの受賞作は…

『ニーチェが京都にやってきて
17歳の私に哲学のこと教えてくれた。』
原田 まりる／著 ダイヤモンド社 2016



手のひらの京 (みやこ)
綿矢 りさ／著 新潮社 2016

京都に生まれ育った三姉妹の日常が、四季や風土と共に描かれていて、**よく知る場所**が出てくると、うれしくなります。(T)



第5回
(2017年度)
候補作

図書館の本棚から

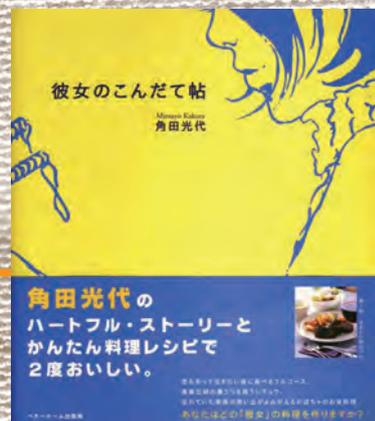
司書がすすめる

この

1冊

『彼女のこんだて帖』

読めばきっと、大切な誰かと食事をしたくなる。15人の主人公と手間暇かけた料理が心を満たし、おなかがすいてくる作品です。



角田 光代 / 著
ベターホーム協会 / 編集・料理
ベターホーム出版局

『彼女のこんだて帖』というタイトルですが、一人の女性による料理の本ではありません。老若男女さまざまな主人公の、料理にまつわるお話15編と、そのお話に登場するレシピが収められている短編小説集です。

主人公はそれぞれが悩みを抱えています。恋人との関係や家族への不満など、読んでみると共感できたり、自分だったら…と考えるお話があるのではないのでしょうか。そして、主人公たちが料理を通して状況を打破しようとしたり、温かな人間関係を再認識する様子に、穏やかで前向きな気持ちになれるはずですよ。

私のおすすめは第9話「なけなしの松茸ごはん」です。依子は恋人と駆け落ち同然で上京しますが、思い描いていたおしゃれな生活はできず、貯金も尽きそうになってしまいます。そんな時に訪ねてきた母から現金3万円をもらうのですが、依子はとんでもない行動に出ます。そこに込められた彼女の想い、そして恋人との行く先は…!? 依子の決意に驚かされ、料理を通じた強いメッセージに胸がじんときた。

今や料理は電子レンジなどで非常に手軽にできますが、手間暇かけて作ることで気持ちの整理ができたり、人との気持ちを繋ぐものになりうるのかもしれませんが。もしよかったら、気に入ったお話のレシピで料理を作ってみてください。お話とレシピ、贅沢なこんだて帖を味わい尽くせますように。

(O)

北図書館は つながるとしよかん!

学校から図書館に見学に来てもらったり、図書館職員が学校へブックトークに行ったり。子どもたちと本とのであいを橋渡ししています。



児童館で、図書館職員がお話会やオリエンテーションをしています。ハロウィンの時には、児童館からかわいいお客さんも…。小さなときから図書館に親しんでほしいと思っています。



近隣の学校や施設と連携したり、毎日テーマを変えた展示をしたり。本と人をつないで、日々楽しく暮らしていくためのお手伝いをしています。

北図書館は交通の便が良い街中にあります。子どもからお年寄りまで、毎日たくさん来館されている、とても活気のある図書館です。

大学で幼児教育を学ぶ学生さんたちが、日ごろの成果を披露するイベントもあります。学生も参加する人も、みんな楽しいひとときです。



創作のヒント探しにも、ぜひ図書館をご利用下さい。思わぬ発見があるかもしれません。応募は終了しましたが、「京都船岡山アストロロジー×京都市北区役所 京都キタ短編文学賞」に、図書館も協力したんですよ。



京都市北図書館

〒603-8214 京都市北区紫野雲林院町44-1北合同福祉センター 2階

TEL 075-492-8810 / FAX 075-491-5033

地下鉄「北大路駅」下車 西へ徒歩約15分 / 市バス「大徳寺前」または「北大路堀川」下車





～あなたの知りたいにおこたえます!～

レファレンスとは、みなさんからの質問・相談を受けて、調べものに必要な資料を探すお手伝いをする事です。このコーナーでは、京都市図書館の調べものを担当する右京中央図書館*の司書がレファレンスについてのエピソードを紹介します。

レファレンスは、各図書館のカウンター窓口・電話・郵便で受け付けています。京都に関することからホームページでも受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

お月見するのは十五夜だけ?

朝晩の冷え込みに秋の気配を感じる頃、「十三夜」について知りたい」という男性が尋ねて来られました。“十五夜”ならよく聞けど…と考えながら伺うと、十三夜の意味や由来をお知りになりたいとのことです。

十五夜は、特に陰暦8月15日の夜のこと、お月見をする習わしがあります。手に取った年中行事の本には、その十五夜のことばかりが書かれています。それなら辞書や事典にヒントはないかと、『日本国語大辞典』で調べてみると、“十三夜”は陰暦9月13日の夜のこと、十五夜に次いで月が美しいといわれ月見の宴を催したこと、その由来は、醍醐天皇の宴が始まりであるとも、宇多法皇が十三夜の月を無双と褒め称えたことによるともされていること、十五夜の月を“芋名月”と呼ぶのに対して、“豆名月・栗名月”ということがわかりました。

由来がわかると、「醍醐天皇の宴

はいつ行われたのか」と興味を持たれました。日本史の史料集『大日本史料』の中では、江戸時代の百科事典『古今要覧稿』に載っている、延喜十九(919)年九月十三夜に月の宴をしたことが始まりだという説が紹介されていました。

さらには「なぜ“豆名月・栗名月”と言うのか」と興味が広がった様子です。食べ物の名前が付いているので、年中行事にまつわる料理の本などへも調べる範囲を広げましたが、なかなか見つかりません。貸出中のもので載ってそうな本はあるのですが、残念ながらその日のレファレンスは終了となりました。

後日、他の京都市図書館から本を取り寄せ、改めて探してみると、『史料が語る年中行事の起原』や『年中行事百科』に、豆や栗を供えるのでその別名があること、十五夜の月だけ見て十三夜の月を見ないのは“片

見月」といって縁起が悪いことなどが載っていました。あの時この本を紹介できればよかったな…と少し悔しい気持ちになり、限られた資料と時間で調査する難しさと、調べるほどにもっと知りたくなる面白さの両方を感じました。



【参考文献】

- 『年中行事百科』八條 忠基／著 淡交社 2022
- 『史料が語る年中行事の起原』阿部 泉／著 清水書院 2021
- 『日本国語大辞典 第6巻(第2版)』小学館国語辞典編集部／編集 小学館 2001
- 『大日本史料 第1編之5』東京大学史料編纂所／編 東京大学出版会 1978



*右京中央図書館：地下鉄「太秦天神川」、市バス「太秦天神川駅前」、京福電車「嵐電天神川」下車すぐ

子どもの本
コンシェルジュが選ぶ



「読んでほしい! for Teens」

京都市図書館には、子どもの本の専門家になるための養成講座を修了した司書「子どもの本コンシェルジュ」がいます。

今回は、そのコンシェルジュが「ぜひティーンズに読んでほしい!」と思う本をご紹介します。

あなたのお気に入りの一冊が見つかりますように。



このバッジが目印!

『あなたを閉じこめる「ずるい言葉」』

10代から知っておきたい!

森山 至貴/著(WAVE出版)

「あなたのために思って言っているんだよ」「そんな言い方じゃ聞き入れてもらえないよ」などの言葉に、うまく言い返せなくて、モヤモヤしたことはありませんか?この本では、これらの言葉のどこがずるいのか、どう考えれば、そこから抜け出せるのかを解説しています。「言葉」はあなたを傷つけますが、自由にもします。この本が、よくわからない息苦しさから抜け出し、自分らしく力強く生きるためのヒントになりますように! (S)



『moja』

吉田 桃子/著(講談社)

中学生の理沙の秘密は「毛深い」こと。夏でも長袖で過ごし、プールの授業は全て欠席。おしゃれも、恋愛も、結婚も、自分には関係ないとあきらめています。誰にも相談できず、縮こまった心で過ごす日々は息苦しく、ついには、友達と喧嘩になってしまいます。自分を大事にするって案外大変。理沙が自分を好きになれる日は来るのでしょうか?背中を押すのではなく、隣でやさしく「あなただけじゃないよ」と応援してくれるような本です。

(O)



『センス・オブ・何だあ? 感じて育つ』

三宮 麻由子/著 大野 八生/画(福音館書店)

「センス・オブ・何だあ?」どこかで聞いたことがある書名? そう、レイチェル・カーソンの有名な著書『センス・オブ・ワンダー』へのオマージュです。4歳の終わりに病気で光と完全にお別れした著者は、「感じる」事の他に「何だろう?」と思う小さな疑問を大切にしています。豊かな音を聞き、雨の音を聴覚や触覚で楽しみ、季節の景色を匂いで発見して…。感覚のアンテナをしなやかに広げ、「感じる」世界の楽しさを、一緒に「かじって」みませんか? (M)



『アンネの日記 グラフィック版』

アンネ・フランク/著 アリ・フォルマン/翻案 デイビッド・ポロンスキー/イラストレーター 深町 眞理子/訳(あすなろ書房)

第二次世界大戦中、ユダヤ人であるという理由で迫害され、隠れ家に住んでいた少女・アンネ。そんな状況でも、母親に反抗したり、一緒に住んでいる家族の男の子に恋したり、普通の思春期も日記に残しました。オリジナルの日記はとても長いのですが、この本はそれをマンガにしたものです。

大人になってから出会ってもいいけど、アンネの気持ちがほんとうにわかるのは、今のみなさんだと思います。(K)



『わたしのげぼく』

上野 そら/作 くまくら 珠美/絵(アルファポリス)

「わたしはおまえをきらいになったりしない」わたしとかれ(げぼく)がともに過ごした18年の日々を、「わたし」であるねこの目線から綴った絵本。

「かっこよくて、かしくくて、すばやくて、いちばんかわいいわたし」は年を取るのもすばやい。そして訪れる別れ。

とっておきのプレゼントを用意して、空から「げぼく」を見守る「わたし」の愛情が心に沁みます。誰かに愛されなくなった時、そっと寄り添ってくれるお話です。(K)



京図ものがたり vol.57

発行 令和5年1月

編集・発行 (公財)京都市生涯学習振興財団

財団本部総務課企画係(京都市図書館担当)

〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9-2

TEL 075-802-3145



●京都市図書館ホームページ
<https://www2.kyotocitylib.jp/>

●携帯サイト <http://www.kyotocitylib.jp/i/>

●公式Twitter @KyotoCityLib



(T)

人気作家の若かりし頃の苦労話に、少し親近感が沸きました。

ソードがあります。吉村昭氏は、何度も芥川賞候補になりながら受賞できず、芥川賞作家の妻・津村節子氏の助言で仕事をやめ、1年間取材をした『戦艦武蔵』などで認められて菊池寛賞を受賞しました。

今回の特集で文学賞を調べるなか知ったのですが、賞というのは、作家にとつて悲喜こももものドラマがあるようです。

西村京太郎氏は、オール讀物推理小説新人賞を受賞後もすぐに本が売れず、賞金のために審査員の好みを研究したというエピソードがあります。

編集集後記

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
子どもと共に育む京都市民憲章を实践しましょう!



地球環境を守るため、できる限り市バス・地下鉄等をご利用ください。